

ご挨拶

■はじめに

本日は、「2012年全日本選手権フォーミュラ・ニッポン 選手権概要発表会」に、多数お越しいただき厚くお礼申し上げます。

また東日本大震災に被災された皆様におかれましては、心よりお見舞い申し上げます。1年の月日が流れましたが、この素晴らしい国と、そして被災された地域の1日も早い復旧、復興を切に願っております。

■シーズン開幕に向けて

さて本年度も来月の鈴鹿2&4レースを皮切りに、全日本選手権フォーミュラ・ニッポン全7戦がスタートします。

今年は、12エントリー、17名の選手が“日本一速い男”の栄冠を目指して争います。特に今シーズンは、2007年以降のシリーズチャンピオン4名がエントリー。2007～2008年2年連続チャンピオンを獲得した松田次生選手。2009年のチャンピオン、ロイック・デュバル選手。2010年のチャンピオン、J. P. デ・オリベイラ選手。そして昨年度（2011年）チャンピオンのアンドレ・ロッター選手ら、フォーミュラ・ニッポン史上初の4チャンピオンが参加。全日本選手権に相応しいハイレベルでエキサイティングなレース展開が期待されます。

またシリーズ後半戦には、米国インディカーシリーズにフル参戦している佐藤琢磨選手もエントリーを表明するなど、国内最高峰フォーミュラカー・レースに相応しい、高質なエンターテインメントを、モータースポーツ・ファンの皆様にお楽しみいただきます。

■2012年シーズンのレースの特色

今シーズンはタイヤ交換の義務付けを無くします。レース距離は250kmに統一し、燃料搭載規制を行うことで、給油のためのピットインが必然的となり、様々なチームのピットイン戦略による、エキサイティングなレースが見どころとなります。

*第7戦鈴鹿大会は2レースのためレース距離が異なります。

■シリーズ・タイトル名称変更

さてフォーミュラ・ニッポンは、国内の頂点レースを目指して1996年にスタート。以来16年間一貫して「フォーミュラ・ニッポン」というシリーズ名称で運営に携わって参りました。過去にはマレーシア・セパン大会を開催し、昨年はアジアでの開催の可能性について検討と交渉を進めて参りましたが、今後さらなるグローバル展開の可能性を視野に

入れ、発展的にシリーズ・タイトル名称の変更を行う所存です。

これからの時代に即した、相応しい名称を4月14日（土）より、皆様から募集させていただきます。

【ご参考／募集要項】

□タイトル：「フォーミュラ・ニッポン新名称募集！」

～国内最高峰フォーミュラカー・レースシリーズのグローバル化に相応しいネーミングを募集～

□主催：株式会社 日本レースプロモーション

□応募方法：官製はがきに新名称とその理由、住所、氏名、年齢、電話番号、欲しい車の種類を書いて、

102-0074 東京都千代田区九段南2-3-25

株式会社日本レースプロモーション

フォーミュラ・ニッポン新名称募集 係 宛

お送りください。

□締切：2012年4月15日～同年5月13日までの消印有効。

□応募資格：日本国内在住で普通自動車免許をお持ちの方。

□賞典：2013年シリーズパドックパス2名一組

（副賞）Honda CR-Z タイプα または、

TOYOTA 86 グレードG

*同様名称でのご応募が多数あった場合には、抽選で1名を決定させていただきます。

□スケジュール：

・報道発表：3月26日（月）選手権概要発表会

・募集開始：4月14日（土）フォーミュラ・ニッポン第1戦
鈴鹿サーキット

・募集締切：5月13日（日）フォーミュラ・ニッポン第2戦
ツインリンクもてぎ

・当選者発表：5月27日（日）フォーミュラ・ニッポン第3戦
オートポリス

*ロゴマークはネーミング決定後JRPにて決定。

・賞品贈呈：11月18日（日）富士スプリントカップ

・新名称施行：2013年1月1日より

■新型シャシー導入

一方競技車両につきましては、現在のスウィフト社製FNO9を継続して使用いたしますが、新しいシャシーの導入を、2014年頃を目処に検討して参ります。すでに国内外の幾つかのコンストラクターから打診があり、夏ごろまでに選定し、来シーズン中ごろから実走テストをスタートしたいと考えております。

■システムE

またシステムEは、よりスリリングな抜きつ抜かれつの魅力あるレースを演出するシステムとして、ギアボックスに装着されたモーターをバッテリーで駆動し、燃料消費量を増加させることなくパフォーマンス性能の向上を図るシステムとして、当初2012年からの導入を計画し、開発に着手いたしました。

昨年、本田技研工業様、トヨタ自動車様のご協力により、サーキット走行による実戦的な開発テストを行い、環境問題という時代の要請を強く受け止め、エネルギー回生を含むシステムとしてさらに進化を続けながら開発を続けて参りました。

しかしながら、震災の影響で昨年5月に予定していたテストが9月に延期になり、開発に大きな遅れが生じたため、本年度からの導入を見送ることといたしました。今後は2014年導入を目指し、実用化に向けた開発テストを続けて参ります。

■その他の活動

その他の活動といたしましては・・・

まずTV放送につきましては、競技映像やピットカメラ、また車載カメラを使い、レースの迫力、醍醐味を伝える映像をこれまで以上盛り込み、BSフジ、JSPORTSの2局で放映いたします。またインターネット配信につきましては、引き続きヤフーGYAOでの露出を行って参ります。

またイベントにつきましてはホンダ主催の「エンジョイホンダ」との連動、2輪レースの共催である2&4イベントの強化を行い、シナジー効果によるフォーミュラ・ニッポンの更なる認知と浸透を図ってまいりたい所存です。

■終わりに

簡単ではございますが、以上をもちまして私のご挨拶とさせていただきます。

ご清聴ありがとうございました。

2012年3月26日

株式会社日本レースプロモーション
代表取締役社長 白井 裕